

施策の成果及び執行実績

1 教育委員会の開催

開催回数	定例会教育委員会	12回、臨時教育委員会	3回
会議録に関すること			19件
人事に関すること			10件
財政に関すること			4件
委嘱に関すること			20件
条例に関すること			17件
その他			42件

【点検及び評価】

教育行政が停滞しないよう必要に応じ、臨時教育委員会を開催し、各案件の審議にあたった。また、定例会、臨時会以外にも教育委員会に関連する行事等への参加や保護者とのパイプ役となり、教育行政のスムーズな執行に寄与した。

2 奨学金貸与事業

〔貸与〕	高校生	新規	3人	720,000円
		継続	8人	1,920,000円
	大学生	新規	4人	1,440,000円
		継続	7人	2,520,000円
	貸与合計		22人	6,600,000円

平成24年度から基金運用にて事業実施

【点検及び評価】

経済的理由により修学困難な者に対し奨学基金から奨学金を貸与し、修学の機会を広め、将来社会に有用な人材を育成するための事業として実施した。このことは子育て支援策のひとつと捉えている。選考については、奨学生選考委員会で審査し貸与を行い、公平性を確保している。今後も、奨学金の制度を存続させるために、返還が滞っている者に対する納付について分割納付の相談を受けたり督促を強化するなどの対策を講じていく。

3 通学専用バス運行費助成事業 1,500,000 円

【点検及び評価】

伊勢方面に通学する浜島・志摩・大王・阿児町在住と志摩高校へ通学する志摩・大王町在住の高校生を対象に専用バスの運行を確保することで、利便性の向上と非行防止及び保護者の経済的負担の軽減が図られ、これについても子育て支援策のひとつと捉えている。

4 学校施設等解体撤去事業 8,046,000 円

【点検及び評価】

教育施設として利用しなくなった旧浜島小学校、畔名小学校、坂崎分校、旧大王給食センター、名田分校、片田中学校や跡地利用計画のない旧教育施設の解体撤去を行うため実施設計を行った。

教育総務課

施策の成果及び執行実績

5 小学校総務管理費

(1) 小学校総務一般経費 2,793,422 円

小学校の安全な運営に必要となる経費を支出した。

主な支出項目は以下のとおり

備品修繕料	389,600円
聴力計検査手数料	192,132円
ピアノ調律手数料	350,400円
駐車場借上料	267,480円
学校用地借上料	1,550,210円

【点検及び評価】

学校の運営また学校教育活動のために必要な経費を支出することによって、スムーズな学校運営・学校教育活動を支援した。

6 小学校施設管理費

(1) 小学校管理運営費 31,223,680 円

志摩市内の小学校施設における日常的な修繕や法令に基づく定期検査等の施設維持管理経費を支出した。

主な事業費は以下のとおり

施設修繕料（市内各小学校の修繕）	7,326,685円
浄化槽清掃料	3,196,260円
浄化槽保守管理委託料	4,808,160円
消防設備保守点検等委託料	1,542,000円
校舎保安業務委託料	3,696,192円

【点検及び評価】

学校の適正な管理運営のために必要となる経費である。施設の修繕については、突発的な不具合等が発生しているが、迅速に対応し、子どもたちが安全、安心な学校生活を送れるようにするために大切な費用である。

7 小学校再編準備経費 15,650,058 円

志摩市小学校再編基本計画に基づき船越小学校・波切小学校が閉校し大王小学校に再編した。また片田小学校・布施田小学校・和具小学校・越賀小学校が閉校し志摩小学校に再編したため、再編にかかる経費を支出した。

主な事業費は以下のとおり

再編記念ソング制作委託料	2,608,848円
備品購入費	4,698,000円
旧学校閉校事業補助金	5,898,000円

8 小学校教育総務振興費

(1) 小学校備品購入事業 16,832,514 円

児童の教育活動を充実させるため、机・椅子などの備品やその他図書等を購入し、健全で有効な学校運営を図るための事業を行った。

主な事業費は以下のとおり

備品購入費	14,264,852円
図書購入費	2,067,662円
鵜方小学校図書購入費（基金分）	500,000円

施策の成果及び執行実績

【点検及び評価】

限られた予算の中で、学校の要望を聴取しながら、十分とはいかないものの学校備品や図書等の充実を支援した。今後も引き続き対応し、さらなる充実に努めたい。

9 小学校耐震化・大規模改造事業費

(1) 磯部小学校校舎大規模改造事業 95,030,734 円

昭和41～43年建築RC造3階建て3,780㎡の老朽化の激しい磯部小学校校舎の大規模改造を行うことにより教育環境の改善を図り、児童の安全確保を図るため校舎大規模改造工事（I期工事）を実施した。

主な事業費は以下のとおり

校舎大規模改造工事（I期工事）費	93,856,320円
受注者：磯部建設工業（株）	
校舎大規模改造工事（I期工事）施工監理業務委託料	939,600円
受注者：向井照雄建築事務所	

(2) 和具小学校エレベーター設置事業 36,889,880 円

和具小学校に肢体不自由等の障害を持つ児童が就学する予定があり、安全で安心な教育環境の整備するためエレベーター設置工事を行った。

主な事業費は以下のとおり

エレベーター設置工事費	35,703,720円
受注者：(株)山下組	
エレベーター設置工事施工監理業務委託料	302,400円
受注者：ナカムラ設計	

(3) 阿児町東部地区小学校建設事業 1,099,460,906 円

志摩市小中学校再編基本計画をもとに、低地にある施設を高台へ移設し新しい統合小学校を開設することにより、児童の学校における安全の確保と円滑な教育活動の実施を図るため、整備に係る造成工事、建築工事等、下記の事業を実施した。

阿児町東部地区小学校造成工事費（継続費）

受注者	： 山本・畑中・大西特定建設工事共同企業体	
契約金額	： 372,265,200 円	平成28年度支払額 297,745,200 円

阿児町東部地区小学校新築工事（建築工事）費（継続費）

受注者	： 山下・出馬・作田特定建設工事共同企業体	
契約金額	： 2,113,560,000 円	平成28年度支払額 629,598,000 円

阿児町東部地区小学校新築工事（電気設備工事）費（継続費）

受注者	： シンフォ・東山特定建設工事共同企業体	
契約金額	： 219,963,600 円	平成28年度支払額 65,469,080 円

阿児町東部地区小学校新築工事（機械設備工事）費（継続費）

受注者	： 日管・宮柴特定建設工事共同企業体	
契約金額	： 303,750,000 円	平成28年度支払額 90,415,000 円

阿児町東部地区小学校新築工事施工監理業務（総合施工監理）委託料（継続費）

受注者	： (株)久米設計 名古屋支社	
契約金額	： 32,292,000 円	平成28年度支払額 10,368,000 円

施策の成果及び執行実績

阿児町東部地区小学校新築工事施工監理業務（現地施工監理）委託料（継続費）
 受注者：林・ナカムラ・瀧鼻共同企業体
 契約金額：8,618,400円 平成28年度支払額 2,585,520円

【点検及び評価】

上記事業を実施することで、児童が安全な学校生活を送れるよう努め、また、学校再編の推進により再編後も使用する学校に対しては大規模改修を施し安全性を高めるとともに、施設の延命化を図った。平成30年4月に新設予定の阿児町東部地区小学校については、保護者や自治会代表者そして小学生の意見等も取り入れ、児童が快適に学校生活を送ることができる施設にするべく努めている。

10 中学校総務管理費

(1) 中学校総務一般経費 1,336,679円

中学校の安全な運営に必要な経費を支出した。

主な支出項目は以下のとおり

備品修繕料	450,788円
聴力計検査手数料	102,708円
ピアノ調律手数料	209,680円
駐車場借上料	222,000円
敷地借上料	123,000円

【点検及び評価】

学校運営また学校教育活動のために必要な経費を支出することによって、スムーズな学校運営を支援した。

11 中学校施設管理費

(1) 中学校管理運営費 22,915,224円

志摩市内の中学校施設における日常的な修繕や法令に基づく定期検査等の施設維持管理経費を支出した。

主な事業費は以下のとおり

施設修繕料（市内各中学校の修繕）	10,323,014円
浄化槽清掃料	2,548,260円
浄化槽保守管理委託料	1,049,760円
消防設備保守点検等委託料	1,034,000円
エレベーター保守点検委託料	1,616,760円
校舎保安業務委託料	1,802,736円
環境整備業務委託料	1,508,446円

【点検及び評価】

学校の適正な管理運営のために必要となる経費である。施設の修繕については、突発的な不具合等が発生しているが、迅速に対応し、子どもたちが安全、安心な学校生活を送れるようにするため大切な費用である。

施策の成果及び執行実績

12 中学校教育総務振興費

(1) 中学校備品購入事業 4,635,432 円

生徒の教育活動を充実させるため、机・椅子などの備品やその他図書等を購入し、健全で有効な学校運営を図るための事業を行った。

主な事業費は以下のとおり

備品購入費	3,535,432円
図書購入費	1,100,000円

【点検及び評価】

限られた予算の中で、学校の要望を聴取しながら、十分とはいかないものの学校備品や図書等の充実を支援した。今後も引き続き対応し、さらなる充実に努めたい。

13 中学校耐震化・大規模改造事業費

(1) 磯部中学校屋内運動場改修事業 22,694,760 円

平成8年建築RC一部鉄骨造2階建て1,424㎡の磯部中学校屋内運動場の吊天井及び照明等の非構造体の耐震化を行うことにより教育環境の改善を図るため平成27年度から改修工事を行った。

屋内運動場吊天井改修工事費（継続費）	22,432,320円
受注者：作田建設(有)	
契約金額 40,342,320円、平成28年度支払額	22,432,320円
施工監理業務委託料	262,440円
受託者：建築設計 間34 片山正司	
契約金額	262,440円

(2) 東海中学校校舎大規模改造事業 2,351,160 円

昭和57年建築RC造3階建て3,676㎡の老朽化した東海中学校校舎の施設の長寿命化及び教育環境の改善を図るための改造工事の実施設計業務を行った。

実施設計業務委託料	2,322,000円
受託者：西沢建築設計事務所	
契約金額	2,322,000円

(3) 磯部中学校屋内運動場改修事業（遞次繰越分） 2,086,000 円

平成8年建築RC一部鉄骨造2階建て1,424㎡の磯部中学校屋内運動場の吊天井及び照明等の非構造体の耐震化を行うことにより教育環境の改善を図るため平成27年度から改修工事を行った。

屋内運動場吊天井改修工事費（継続費）	2,086,000円
受注者：作田建設(有)	
契約金額 40,342,320円、平成28年度支払額	2,086,000円

【点検及び評価】

上記事業の実施により、生徒の安全な学校生活が送れるよう努力した。また、学校再編の推進により再編後も使用する学校に対しては大規模改修を施し、安全性を高めるとともに、施設の延命化を図った。今後も残る中学校について計画的に実施していく必要がある。

施策の成果及び執行実績

14 幼稚園総務管理費

(1) 幼稚園総務一般経費 547,542 円

幼稚園の安全な運営に必要となる経費を支出した。

主な支出項目は以下のとおり

聴力計検査手数料	54,486円
ピアノ調律手数料	30,240円
駐車場借上料	360,000円

【点検及び評価】

幼稚園運営のために必要な経費を支出することによって、スムーズな幼稚園運営を支援した。

15 幼稚園施設管理費

(1) 幼稚園管理運営費 2,379,766 円

志摩市内の幼稚園施設における日常的な修繕や法令に基づく定期検査等の施設維持管理経費を支出した。

主な事業費は以下のとおり

施設修繕料（市内各幼稚園の修繕）	406,478円
浄化槽清掃料	526,176円
浄化槽保守管理委託料	529,200円
消防設備保守点検等委託料	80,800円
園舎保安業務委託料	262,440円
体育用具等保守点検委託料	144,000円
環境整備業務委託料	141,094円

【点検及び評価】

幼稚園の適正な管理運営のために必要となる経費である。施設の修繕については、突発的な不具合等が発生しているが、迅速に対応し、子どもたちが安全、安心な学校生活を送れるようにするため大切な費用である。

16 幼稚園教育総務振興費

(1) 幼稚園備品購入事業 604,787 円

園児の保育活動を充実させるため保育備品やその他図書等を購入し、健全で有効な幼稚園運営を図るための事業を行った。

主な事業費は以下のとおり

備品購入費	182,952円
図書購入費	421,835円

【点検及び評価】

限られた予算の中で、幼稚園の要望を聴取しながら、十分とはいかないものの幼稚園備品や図書等の充実に努めた。今後も引き続き対応し、さらなる充実に努めたい。

施策の成果及び執行実績

17 幼稚園整備事業費

(1) 鶴方幼稚園改修事業 46,384,392 円

平成10年建築S造2階建て1,316㎡及び昭和60年建築平屋建て206㎡の園舎及び遊戯室の改修を行うことにより保育、教育環境の改善を図るため改修工事を行った。

園舎改修工事費 45,552,240円

受注者：畑中建設工業（株）

契約金額 45,552,240円

園舎改修工事施工監理業務委託料 561,600円

受注者：瀧鼻設計事務所

契約金額 561,600円

【点検及び評価】

上記事業の実施により、安全な園生活が送れるよう努力した。大規模改修を施し、安全性を高めるとともに、施設の延命化を図った。今後も計画的に実施していく必要がある。

18 学校給食管理費

(1) 学校給食一般経費 497,027 円

公用車 ガソリン代・車検代 他

【点検及び評価】

学校給食一般事務に関する経費公用車車検代、ガソリン代他として使用。必要経費のため、削減が厳しい。

19 学校給食センター費

(1) 学校給食センター管理運営費 304,189,100 円

職員の状況（人）

所長	事務職員	栄養士	栄養補助職員	調理員（正）	調理員（臨）
1	1	2	2	15	13

主な支出項目は次のとおり

臨時職員賃金 17,066,655 円

センターにおける日常的な修繕や法令に基づく定期検査等の施設維持管理経費

78,716,901 円

備品修繕 112,460 円

スライサー修理・刃研ぎ 軽四ダンプ修理 他

施設修繕 403,790 円

給水ポンプ修理、送風機修理、自動扉修理 他

手数料 714,680 円

受水槽清掃料 108,000 円

学校給食用食品検査料 90,180 円

検便手数料 498,000 円

簡易専用水道法定検査手数料 18,500 円

教育総務課

施策の成果及び執行実績

委託料	77,485,971 円
衛生害虫防除消毒作業委託料	142,560 円
栄養計算システム保守業務委託料	142,560 円
給食配送・回収等業務委託料	72,741,423 円
電気工作物保安管理業務委託料	759,456 円
消防設備保守点検等委託料	195,480 円
エレベーター保守点検委託料	738,720 円
施設保安業務委託料	272,160 円
清掃業務委託料	194,400 円
排水処理施設保守点検業務委託料	1,021,248 円
空調機器及び換気扇保守点検委託料	183,600 円
排水処理施設汚泥収集運搬業務委託料	540,000 円
排水処理施設汚泥処分業務委託料	554,364 円

《給食実施状況》

①配食施設別給食人員

施設種別	小学校	中学校	給食センター	合計
施設数	15校	7校	1施設	23
食数	2,278	1,423	35	3,736食

②給食内容

給食回数	週5日の完全給食
給食実施日数	194日
主食の内容	米飯・・・週4回 パン・・・週1回
主食について	米飯・パンを丸仙製パン（株）へ委託

③給食費徴収金

区分	月額	日額	備考
小学校（低学年）	3,900円	250円	
小学校（中学年）	4,100円	260円	
小学校（高学年）	4,300円	270円	小学校教職員
中学校	4,600円	280円	中学校教職員、ALT、栄養士、給食センター職員
試食		300円	ふるさと給食、ゲストティーチャー等

④学校給食センターにおける給食費収支状況（平成28年度現年度分）

給食費徴収金調定額	給食費徴収金収納額	賄材料費	収入未済額
176,275,640円	176,202,040円	177,634,311円	73,600円

施策の成果及び執行実績

⑤給食費徴収金（滞納分）の状況

	幼稚園	小学校	中学校	合計
平成27年度までの滞納額	7,200円	681,904円	1,017,606円	1,706,710円
平成28年度中の収納額	0円	79,000円	84,400円	163,400円
差引滞納額	7,200円	602,904円	933,206円	1,543,310円

学校給食センター運営委員会の開催

第1回開催日：平成28年7月25日 第2回開催日：平成29年2月22日

委員：小学校長代表1人 中学校長代表1人 栄養教諭2人

P T A代表10人 養護教諭代表2人 計16人

学校給食センター従事職員への衛生管理等に関する研修会の実施

開催日：平成28年8月25日 場所：志摩市学校給食センター

研修内容：衛生管理講習、安全管理講習、総合防災訓練

参加者：34人（調理員、事務職員、栄養教諭、学校栄養補助職員）

食物アレルギー対応状況

除去食・代替食対応 65人

地場産物を使った「志摩のふるさと給食」を実施

6月 ひじきそばごはん 11月 ひじきハンバーグ、船越みそ、磯部みかん

1月 あじの干物から揚げ、しっぽく、磯部みかん

サミット開催国の産物を使った「サミット給食」を実施

4月ドイツ 5月日本

【点検及び評価】

平成25年9月から志摩市学校給食センター1施設で給食を提供している。

平成28年度は、市内小中学校の生徒に1日約3,700食の提供を実施した。昨年度に引き続き給食の配送業務・回収業務については、志摩市東部を前島運送有限会社和具営業所、志摩市西部をミナミ運輸有限会社に委託した。主食は1週間の内米飯が4日、パンが1日を基本として丸仙パン株式会社に委託した。

給食費の未納については、学校と協力して回収に努めた。過年度分についても、電話、未納通知等連絡も行った。未納が極力発生しないよう、今後も学校と連携して取り組んでいきたい。

食育の一環として地場産物を使った「志摩のふるさと給食」を各学期に1回実施した。地元でとれる産物や旬の食材について興味をもち、理解を深めるとともに、食育の一助として役立てることができた。サミット開催決定に合わせ、開催国の郷土料理を模倣したサミット給食も実施し、国際的な食に興味を持つ動機づけになったと考える。

夏の豪雨による近年まれにみる野菜の高騰に見舞われ、賄材料費は非常に厳しい状況でしたが、栄養士を中心に節減に取り組み、仕入れ業者の協力も有り、結果、予算内に収めることが出来た。なお、給食における異物混入についても、大きな問題となる事例は発生しなかった。

食物アレルギー対応について、平成28年2月に三重県教育委員会より、『学校におけるアレルギー疾患 対応の手引き』が発行され、この手引きに基づきアレルギー対応を実施した。またアレルギー対応に関し大きな事故につながる事案は発生しなかった。今後も家庭、学校、学校給食センターが連携を密にして事故防止に努めなければならないとの思いを深めている。

学校教育課

施策の成果及び執行実績

1 事務局学事庶務費

- (1) 事務局学事庶務一般経費 2,952,408 円
 小中学校・幼稚園の学事庶務全般に係る一般事務経費
- (2) スクールバス運行管理事業 19,376,440 円
 浜島小学校、鶴方小学校・文岡中学校、磯部小学校の遠距離通学者に対してスクールバスの運行を委託
- (3) 学校保健事業 1,895,806 円
 学校保健安全法の規定により義務付けられている教職員健康診断や翌年度就学児320人)を対象とした健康診断を実施した。

2 事務局指導費

- (1) 事務局指導一般経費 14,693,097 円
 教育指導員・学校評議員・学校運営協議会委員の報酬や、メール配信システム利用料、AEDリース料、各種負担金など学校運営及び事務局にかかる一般経費
- (2) 職場体験事業 520,000 円
 自分の将来の生き方や進路を模索し始める中学生を対象に、学校、家庭、地域社会が丸となって地域ぐるみで職場体験活動を実施することで、「地域の子どもは地域で育てる」という気運を高めた。

事業名	事業費	学校名等	備考
職場体験事業	520,000	中学校2年生対象 全7校13学級	市単

- (3) 外国語指導助手事業 16,627,680 円

小学校190回、中学校592回
 ※延派遣回数（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

業務名	契約金額	契約業者	備考
外国人英語指導業務	16,870,680円	(株)インタラック関西東海支店	4人

【点検及び評価】

小学校におけるALTの活用については、小学校5・6年で週1コマ「外国語活動」を実施しており、小学校の英語の教科化を見据え、各中学校と日程調整を行い、できる限り小学校への派遣を確保することに努めた。

各学校へのALTの派遣は、グローバル化が急速に進展する中、英語のコミュニケーション能力の向上は欠かせない重要な施策である。このことがグローバル人材の育成につながると考える。

学校教育課

施策の成果及び執行実績

(4) 授業研究指定校モデル事業 700,000 円

志摩市の子どもの「学び」を実現するために、その第一歩として「学び」の基礎・基本となる教科の学習を充実させた。

事業名	事業費	学校名等	備考
授業研究指定校事業	700,000円	志島小、甲賀小、国府小、志摩中、安乗中、波切小、船越小、鵜方小、立神小、文岡中	市単

(5) 幼稚園・小学校・中学校の指導及び助言

指導主事活動状況（年間の要請回数合計であって、延べ人数ではない）
（小学校・・・15校）

番号	学校名	回数
1	浜島小学校	2
2	波切小学校	7
3	船越小学校	20
4	片田小学校	3
5	布施田小学校	6
6	和具小学校	3
7	越賀小学校	5
8	鵜方小学校	17
9	神明小学校	6
10	立神小学校	13
11	甲賀小学校	21
12	志島小学校	13
13	国府小学校	11
14	安乗小学校	6
15	磯部小学校	15
		148

番号	学校名	回数
1	浜島中学校	0
2	大王中学校	3
3	志摩中学校	6
4	文岡中学校	10
5	東海中学校	7
6	安乗中学校	10
7	磯部中学校	8
	計	44

（幼稚園・・・7園）

番号	園名	回数
1	浜島幼稚園	5
2	大王幼稚園	9
3	志摩幼稚園	5
4	和具幼稚園	4
5	鵜方幼稚園	6
6	国府幼稚園	1
7	磯部幼稚園	6
	計	36

【点検及び評価】

平成28年度は、幼稚園7園に対しのとべ36回、小学校15校に対してのとべ148回、中学校7校に対してのとべ44回、合計228回の要請訪問を行った。

前年度と比較すると、幼稚園は3回増、小学校は16回の増、中学校は12回の減、合計では7回の増であった。これは、全体研修会はもちろんのこと、研修担当者や研修担当等のミーティング等から、積極的に指導主事が関わるような体制をとったからである。そのことで、各校の研修テーマにあわせた具体的な取組について指導を行うことができ、加えて教職員のニーズに寄り添った支援をすることができた。

今後もこのような形の支援を充実させていきたいと考える。

また、特別支援、人権教育に係る相談も増加傾向にある。一人ひとりの児童・

施策の成果及び執行実績

生徒について、あるいはある学年の人権教育の進め方について、教員に寄り添いながら支援するスタイルが求められている。こういった点でも、継続した丁寧な訪問を続けていく必要がある。

学力向上の視点からは、本年度も市の「授業研究指定校事業」推進のため、多くの訪問を行った。授業の在り方、指導方法を研修するとともに、授業の中で見せる子どもたちの様々な様子をどうとらえるかといった児童・生徒理解も含めて、指導・助言を行ってきた。

研究発表の場ではその成果を市内に発信し、市内の学校全体の授業力向上を図った。今後も継続して、児童・生徒の学力向上につながる授業改善を目指し、指導を行う必要がある。

また、県や国の学力向上に係る事業等も考慮しながら、より学校への関わりを強めていく予定である。

(6) 教育特区管理経費 121,300 円

構造改革特別区域法により認可した学校設置会社の設置する学校の経営診断及び私立学校審議会に要した経費

(7) 学べる里海推進事業 1,503,595 円

里海の環境保全と利用について考える授業を行った。

(波切小学校は、シーカヤック体験、水産高校との交流、写生等、海岸清掃)

(片田小学校は、シーカヤック体験)

(布施田小学校は、海岸美化活動、エビ網漁業体験、広域ごみ処理施設・磯部浄水場見学)

(和具小学校は、エビ網漁業体験、水産高校との交流、広域ごみ処理施設見学、御座たんけん)

(越賀小学校は、真珠養殖体験、水産高校との交流学习等、広域ごみ処理施設見学、浜掃除、磯遊び)

(鵜方小学校は、海ほおずきでの磯体験、広域ごみ処理施設見学、シーカヤック体験)

(神明小学校は、水産高校との交流学习、横山ビジターセンター動植物の観察、広域ごみ処理施設の見学等、シーカヤック体験、真珠養殖学習)

(立神小学校は、アオサ養殖及び真珠養殖体験、草木染め体験、広域ごみ処理施設の見学)

(志島小学校は、志摩市歴史民俗資料館見学、広域ごみ処理施設・磯部浄水場の見学)

(甲賀小学校は、広域ごみ処理施設・磯部浄水場の見学)

(国府小学校は、シーカヤック・シェルクラフト体験、広域ごみ処理施設・磯部浄水場の見学)

(安乗小学校は、シーカヤック・シェルクラフト体験)

(磯部小学校は、シーカヤック体験 無人島散策及び磯体験)

学校教育課

施策の成果及び執行実績

- (8) 夢の教室開催事業 298,560 円

JFAこころのプロジェクトを活用し、元サッカー日本代表、Jリーグ選手をはじめ様々なアスリートを特別授業講師「夢先生」として迎え、実体験に基づく授業を通して、フェアプレー精神や協力すること、夢を持つことの大切さ、失敗を乗り越えて夢や目標に向けて努力しようとする意識や態度を育むことを目的に実施した。

- (9) 教育支援センター事業 1,418,307 円

様々な事情で学校生活に適應できない児童・生徒に対し、個々の実態に合わせた支援を行い、学校適應や学校復帰及び自立を目指した指導を行った。

- (10) 通学安全改善事業 2,391,120 円

志摩中学校にバス通学する生徒の安全確保のため、バス待合所の整備確保を行った。

契約名 : 平成28年度 志摩町学校通学バス待合所
(百五銀行和具支店前) 改修工事

契約相手方: クレセル

契約金額 : 1,756,080円

- (11) 学校防災学習事業 270,800 円

防災に関する授業を行った。

(波切小学校は、防災タウンウォッチング、防災学習集会)

(和具小学校は、防災タウンウォッチング、防災学習発表会、避難バック作成)

(国府小学校は、防災タウンウォッチング、防災カレンダー作成、防災パンフレット作成)

- (12) 学力向上推進事業 248,379 円

児童・生徒の学力向上及び学力定着にむけ、重点的・包括的な支援を行うことにより、基礎的・基本的な知識・技能の定着や思考力・判断力・表現力の育成を図った。

事業名	事業費	学校名等	備考
学力向上推進事業	239,000円	神明小学校	県委託 100%

3 情報システム管理費

- (1) 情報システム管理一般経費 20,453,175 円

教育情報システムの保守委託料及び通信回線の利用料

業務名	契約金額	契約業者
光ケーブル利用料	543,672円	アイティービー(株) ZTV伊勢放送局
	2,347,380円	松阪ケーブルテレビステーション株式会社
地域イントラ基盤設備整備事業システム保守委託	6,745,383円	株式会社 松阪電子計算センター
学校情報化基盤整備事業システム保守業務委託	2,008,260円	株式会社 松阪電子計算センター
小中学校パソコン教室端末等基本ソフト更新業務委託	8,808,480円	株式会社 松阪電子計算センター

学校教育課

施策の成果及び執行実績

4 小学校学事庶務管理費

- (1) 小学校学事庶務一般経費 64,217,174 円

小学校の管理運営に係る経常的経費に使用した。

- (2) 小学校課外活動支援事業 3,469,196 円

社会見学や学校水泳、他校との交流・交歓学習等を実施するために要する経費や児童が各種コンクールや大会に参加する場合の経費に対して補助金を交付した。

【点検及び評価】

各事業実施に対する補助を行うことにより、児童の知識や人間性の向上、社会の変化に主体的に対応できるための資質や能力の育成、心身の鍛練や社会的視野を広げる等、学校教育の振興及び充実を図ることに寄与するための有効な施策と考える。

学習研修等補助金、修学旅行等引率費補助金、選手派遣補助金に係る事業については全17校にて実施、また里海関連事業として波切・片田・布施田・和具・越賀・鶴方・神明・立神・志島・甲賀・国府・安乗・磯部小学校にて事業を実施した。

5 小学校保健費

- (1) 小学校保健一般経費 679,982 円

各学校の医薬材料費と学校環境衛生検査（飲料水・照度・騒音・空気等）を行った。

- (2) 校医等報酬経費 9,721,200 円

市内小学校の校医に対する報酬として、学校内科医（13人）・眼科医（4人）・歯科医（14人）・薬剤師（11人）に支払いを行った。

- (3) 小学校健康診断等関係経費 1,320,337 円

市内小学校児童の尿検査（全員）、ぎょう虫卵検査（小1～3）、心臓検診（小1）、結核検診（転校生）、耳鼻科検診（小1・4）の検診手数料として支出を行った。

【点検及び評価】

学校保健安全法・同法施行規則等に基づき、校医による各種健康診断を市内全小学校において実施するとともに、健康診断等において異常等が発見された児童に対しては二次検査の実施や医療機関の受診等を促すことによって、児童の健康の保持増進を図った。

H28年度 対象児童数（H28.5.1時）2,025人

また、学校薬剤師による空気検査や照度検査等を実施することにより、学校環境の維持又は改善の検討等を行った。

H28年度 検査対象施設数 小学校15校

法令で定められていることから欠かせない事業である。

施策の成果及び執行実績

6 情報システム管理費

- (1) 小学校教育用パソコン管理経費 485,278 円
各小学校に設置したパソコン及びプリンタのメンテナンスにかかる経費

7 小学校介助員等配置事業費

- (1) 小学校介助員等配置事業 60,701,903 円
特別支援学級の対象児童や普通学級における要支援対象児童を支援するために、生活面でのサポートを行う介助員を配置した。
人数(延) 38人、賃金 60,536,825円、旅費 165,078円

【点検及び評価】

介助員等の配置については、各学校や園からの要望を受け就学指導委員会で検討し支援を要する児童生徒に対し十分とまではいかないものの配置することができたが、小学校・中学校・幼稚園とも年々支援を要する児童生徒が増加傾向にあり、特別に支援を要する児童生徒にきめ細かく対応することが求められることから、預かり保育を含め今後においても介助員等の配置について検討していく必要がある。

なお、この事業については、直接的には支援を必要とする児童生徒対応であるが、間接的には他の児童生徒の支援にもなっていることから有意義な事業と考える。

8 小学校通学対策事業費

- (1) 小学校児童送迎事業 594,670 円
磯部町坂崎地区の児童が磯部小学校に通うための送迎を委託
対象児童2人

- (2) 小学校通学安全対策助成事業 921,459 円

自転車通学を許可されている児童が自転車を購入した際の購入金額の1/2(上限10,000円)補助、ヘルメットを購入した際の購入金額の1/2(上限1,000円)補助、和具小学校へ通う御座地区の児童及び波切小学校へ通う畔名地区の児童の通学定期代金の全額補助、磯部小学校への通学に公共交通機関を利用する児童の通学定期券代金の1/2補助並びに鶺方小学校へ通う渡鹿野地区の児童の通学定期券及び定期船代金の全額補助。

【点検及び評価】

補助対象となる小学校に通学する遠距離の児童の保護者に対し、義務教育の円滑な運営に資することを目的として通学費の一部又は全部を予算の範囲内において補助することを実施した。児童の通学の安全を確保すると共に、保護者の経済的負担の軽減を図る事業として有効な施策と考える。

補助対象児童数

- 自転車購入補助 13人(磯部小13人)
ヘルメット購入補助 . . . 9人(磯部小7人、鶺方小2人)
通学定期券購入補助 . . . 31人(和具小15人、波切小10人、鶺方小1人、磯部小5人)
仕立て船代金補助 . . . 3人(鶺方小3人)

施策の成果及び執行実績

9 小学校学事庶務振興費

(1) 小学校就学援助経費 21,249,695 円

小学校に在学する児童で経済的な理由により就学困難と認められる児童の保護者に対して学用品費、給食費、修学旅行費、医療費（学校健診により学校保健法に基づく疾病のみ）等に支給を行った。
特別支援教育就学奨励費は、特別支援学級に在籍する児童で基準に該当する保護者に支給を行った。

【点検及び評価】

経済的理由により就学困難と認められる児童の保護者に対し必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施に資することを目的に就学援助費を支給している。家庭の経済格差が子どもの学力格差・教育格差を生むことのないように必要な施策である。平成17年度から準要保護の国庫補助制度が無くなっているが引き続き市における施策の実施が必要である。

(2) 小学校教材購入経費 4,019,580 円

小学校の授業や教育活動で使用する教材にかかる経費に使用した。

10 小学校災害補償費

(1) 小学校災害共済事業 3,241,288 円

日本スポーツ振興センターへの共済掛金（児童全員分）と災害給付金収入の状況

日本スポーツ振興センター災害給付金 1,378,193 円

【点検及び評価】

日本スポーツ振興センター災害給付金は、児童生徒が学校の管理下（通学経路を利用して朝、家を出て、家に帰るまで）において発生した災害により、負傷・疾病を受けた場合、その治療（保険治療）に要する費用を、死亡・障がいの場合には見舞金を支給し、学校安全の普及・充実を図ることを目的とした制度であり、この制度に係る共済掛金（児童全員分）については市が全額負担している。児童生徒における学校安全の普及等を図るための有意義な事業と考える。

11 中学校学事庶務管理費

(1) 中学校学事庶務一般経費 35,575,299 円

中学校の管理運営に係る経常的経費に使用した。

(2) 中学校課外活動支援事業 13,650,121 円

社会見学や学校水泳、他校との交流・交歓学習等を実施するために要する経費や生徒が各種コンクールや部活動の大会に参加する場合の経費に対して補助金を交付した。

施策の成果及び執行実績

【点検及び評価】

各事業実施に対する補助を行うことにより、生徒の知識や人間性の向上、社会の変化に主体的に対応できるための資質や能力の育成、心身の鍛練や社会的視野を広げる等、学校教育の振興及び充実に寄与することの寄与するための有効な施策と考える。

学習研修等補助金、選手派遣補助金、修学旅行等引率費補助金について全7校に補助を実施した。

12 中学校保健費

- (1) 中学校保健一般経費 319,482 円

各学校の医薬材料費と学校環境衛生検査（飲料水・照度・騒音・空気等）を行った。

- (2) 校医等報酬経費 4,855,360 円

市内中学校の校医に対する報酬として、学校内科医（8人）・眼科医（4人）・歯科医（7人）・薬剤師（6人）に支払いを行った。

- (3) 中学校健康診断等関係経費 1,134,071 円

市内中学校の生徒尿検査（全員）、心臓検診（中1）、耳鼻科検診（中1）の検診手数料として、支出を行った。

【点検及び評価】

学校保健安全法・同法施行規則等に基づき、校医による各種健康診断を市内全中学校において実施するとともに、健康診断等において異常等が発見された生徒に対しては二次検査の実施や医療機関の受診等を促すことにより、生徒の健康の保持増進を図った。

H28年度 対象生徒数（H28.5.1時）1,278人

また、学校薬剤師による空気検査や照度検査等を実施することにより、学校環境の維持又は改善の検討等を行った。

H28年度 検査対象施設数 中学校7校

法令で定められていることから欠かせない事業である。

13 情報システム管理費

- (1) 中学校教育用パソコン管理経費 291,000 円

各中学校に設置したパソコン及びプリンタのメンテナンスにかかる経費

14 中学校介助員等配置事業費

- (1) 中学校介助員等配置事業 37,624,915 円

特別支援学級の対象児童や普通学級における要支援対象児童を支援するために、生活面でのサポートを行う介助員を配置した。

人数 22人 、 賃金 37,393,931円、 旅費 230,984円

施策の成果及び執行実績

【点検及び評価】

介助員等の配置については、各学校や園からの要望を受け就学指導委員会で検討し、支援を要する児童生徒に対し十分とまではいかないものの配置することができたが、小学校・中学校・幼稚園とも、年々支援を要する児童生徒が増加傾向にあり、特別に支援を要する児童生徒にきめ細かく対応することが求められることから、預かり保育を含め今後においても、介助員等の配置について検討していく必要がある。

なお、この事業については、直接的には支援を必要とする児童生徒対応であるが、間接的には他の児童生徒の支援にもなっていることから有意義な事業と考える。

15 中学校通学対策事業費

(1) 中学校通学安全対策助成事業 5,672,583 円

自転車通学を許可されている生徒が自転車を購入した際の購入金額の1/2（学校再編により閉校となる校区から通学する生徒については上限15,000円、その他は上限10,000円）補助、ヘルメットを購入した際の購入金額の1/2（上限1,000円）補助、文岡中学校へ通う渡鹿野地区の生徒の通学定期券代金及び定期船代金の全額補助、志摩中学校へ通う片田・布施田・間崎・越賀・御座地区の生徒の通学定期券代金の全額補助、大王中学校へ通う船越地区の生徒の通学定期券代金の全額補助並びに磯部中学校への通学に公共交通機関を利用する生徒の通学定期券代金の1/2補助

【点検及び評価】

補助対象となる中学校に通学する遠距離の生徒の保護者に対し、義務教育の円滑な運営に資することを目的として通学費の一部又は全部を予算の範囲内において補助することを実施した。生徒の通学の安全を確保すると共に、保護者の経済的負担の軽減を図る事業として有効な施策と考える。

補助対象生徒数

自転車購入補助 8人(大王中 5人、東海中 3人)

ヘルメット購入補助 . . . 45人(浜島中15人、文岡中 7人、東海中15人、磯部中 7人)

通学定期券購入補助 . . . 135人(大王中13人、志摩中121人、文岡中 1人、磯部中 1人)

(2) 中学校生徒送迎事業 1,376,390 円

磯部町的矢地区・三ヶ所地区・渡鹿野地区の生徒が文岡中学校へ通うための送迎を委託

16 中学校学事庶務振興費

(1) 中学校就学援助経費 24,720,398 円

中学校に在学する生徒で経済的な理由により就学困難と認められる生徒の保護者に対して学用品費、給食費、修学旅行費、医療費（学校健診により学校保健法に基づく疾病のみ）等に支給を行った。
特別支援教育就学奨励費は、特別支援学級に在籍する児童で基準に該当する保護者に支給を行った。

施策の成果及び執行実績

【点検及び評価】

経済的理由により就学困難と認められる生徒の保護者に対し必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施に資することを目的に就学援助費を支給している。家庭の経済格差が子どもの学力格差・教育格差を生むことのないように必要な施策である。平成17年度から準要保護の国庫補助制度が無くなっているが引き続き市における施策の実施が必要である。

- (2) 中学校教材購入経費 3,753,902 円
中学校の授業や教育活動で使用する教材にかかる経費に使用した。

17 中学校災害補償費

- (1) 中学校災害共済事業 3,439,437 円
日本スポーツ振興センターへの共済掛金（生徒全員分）と災害給付金収入の状況
日本スポーツ振興センター災害給付金 2,245,077 円

【点検及び評価】

日本スポーツ振興センター災害給付金は、児童生徒が学校の管理下（通学経路を利用して朝、家を出て、家に帰るまで）において発生した災害により、負傷・疾病を受けた場合、その治療（保険治療）に要する費用を、また、死亡・障がいの場合には見舞金を支給し、学校安全の普及・充実を図ることを目的とした制度であり、この制度に係る共済掛金（生徒全員分）については市が全額負担している。児童生徒における学校安全の普及等を図るための有意義な事業と考える。

18 幼稚園学事庶務管理費

- (1) 幼稚園学事庶務一般経費 12,913,661 円
幼稚園の管理運営に係る経常的経費を支出した。
収入の状況
幼稚園保育料 14,165,500 円
幼稚園預かり保育料 9,950,975 円
幼稚園保育料滞納繰越分 21,700 円

- (2) 臨時教諭等賃金 20,284,905 円
幼稚園教諭補助14人を配置し、正規職員の補助を行った。

19 幼稚園保健費

- (1) 幼稚園保健一般経費 135,450 円
各園の医薬材料費と学校環境衛生検査（飲料水・照度・騒音・空気等）の手数料を支出した。

施策の成果及び執行実績

(2) 園医等報酬経費 2,999,440 円
 学校内科医7人・眼科医4人・歯科医7人・薬剤師6人に対する報酬を支出した。

(3) 幼稚園健康診断等関係経費 92,701 円
 尿検査、ぎょう虫卵検査の手数料を支出した。

【点検及び評価】

学校保健安全法・同法施行令・同法施行規則に基づき、内科医等の園医による各種健康診断を市内全幼稚園において実施すると共に、この健康診断等において異常等が発見された園児に対しては二次検査の実施や医療機関の受診等を促すことによって、園児の健康の保持増進を図った。

H28年度 対象園児数 (H28.5.1時) 387人

また、学校薬剤師による空気検査や照度検査等を実施することにより、学校環境の維持又は改善の検討等を行った。

H28年度 検査対象施設数 幼稚園7園

20 幼稚園介助員等配置事業費

(1) 幼稚園介助員等配置事業 17,136,525 円
 特別支援を要する幼児を支援するために、生活面でのサポートを行う介助員を配置した。(支出 9人分)

【点検及び評価】

介助員等の配置については、各学校や園からの要望を受け就学指導委員会で検討し、支援を要する児童生徒に対し十分とまではいかないものの配置することができたが、小学校・中学校・幼稚園とも、年々支援を要する児童生徒が増加傾向にあり、特別に支援を要する児童生徒にきめ細かく対応することが求められることから、預かり保育を含め今後においても、介助員等の配置について検討していく必要がある。なお、この事業については、直接的には支援を必要とする児童生徒対応であるが、間接的には他の児童生徒の支援にもなっていることから有意義な事業と考える。

21 幼稚園災害補償費

(1) 幼稚園災害共済事業 174,753 円
 日本スポーツ振興センターへの共済掛金(園児全員分)と災害給付金収入の状況
 日本スポーツ振興センター災害給付金 60,588 円

【点検及び評価】

日本スポーツ振興センター災害給付金は、児童生徒が学校の管理下(通学経路を利用して自宅から自宅へ帰るまで)において発生した災害により、負傷・疾病を受けた場合、その治療(保険治療)に要する費用を支給する、また、死亡・障がいの場合には見舞金を支給し、学校安全の普及・充実を図ることを目的とした制度であり、この制度に係る共済掛金(園児全員分)については市が全額負担している。

児童生徒における学校安全の普及等を図るための有意義な事業と考える。

施策の成果及び執行実績

22 人権教育振興事業費

(1) 人権教育一般経費 2,726,256 円

人権が尊重されるまちづくりのため、関係機関や諸団体との協力・連携のもと、人権教育の推進と啓発活動を実施した。

①社会教育指導員 委嘱…1人

社会教育のうち主に人権教育に関する指導、助言を行う。市内幼稚園・小中学校へは人権教育の実践研究を通じて交流を行い、人権教育の充実を図った。(週5日)

社会教育指導員報酬 1,680,000円 同費用弁償 150,285円

(2) 人権教育関係補助金 700,000 円

学校教育や地域における社会教育を通して、人権文化を構築する主体者づくりをめざすため、人権教育に携わるすべての保育・教育関係職員の連携と連帯を土台にした人権教育の研修、実践を推進し、あらゆる差別の解消と人権の確立をめざすため、志摩市人権教育研究会へ補助金を交付した。

(3) 人権感覚あふれる学校づくり支援事業 . . . 750,000 円

市内各中学校校区を単位として、代表校へ児童・生徒のための人権教育に繋がる実践及び研修活動を委託した。

委託金

70,000円×2中学校区=140,000円 (浜島・安乗中学校区)

100,000円×2中学校区=200,000円 (大王・磯部中学校区)

120,000円×2中学校区=240,000円 (志摩・文岡中学校区)

170,000円×1中学校区=170,000円 (東海中学校区)

(4) しまふれあい人権フォーラム事業 515,160 円

市民が、学校で人権学習を受けている児童・生徒と心の交流を図ることにより、自分を見つめ直し、互いの人権感覚を高め、人権問題を市民一人ひとりのものとし、その解決に向け主体的に行動できる人権意識の高揚をめざしフォーラムを実施した。参加者：705人

(5) 人権教育推進研修事業 43,650 円

三重県人権教育基本方針及び志摩市人権教育基本方針に基づき、人権教育を推進するために、市内小中学校・幼稚園・保育所の管理職や初任者等に対して研修を行った。

【点検及び評価】

子どもたちを取り巻く人権課題が深刻化している中で、正しい認識を育て、生きる力を獲得していく人権教育の推進は必要な施策である。推進していくためには、指導者育成とスキルアップのため、学校や関係機関と連携し、職員等への研修の場を積極的に提供していく必要がある。また、LGBTや子どもの貧困など新たな人権課題に対しても、社会や子どもたちの状況を注視しながら対応し、一人ひとりが大切にされる教育を引き続き推進していく必要がある。

学校教育課

施策の成果及び執行実績

23 教育集会所運営費

(1) 教育集会所管理運営費 4,244,975 円

運営委員会の開催
教育集会所の適切な管理運営を行うために、年1回（3月）運営委員会を実施した。
臨時職員の任用（2人）

(2) 人権学習会等事業 666,515 円

社会の中に根強く残っている不合理な部落差別をなくすために、関係諸機関等と協力、連携しながら、地域の実情に即した人権学習及び児童生徒の教育向上のための教科学習活動等を行った。

事業内容	実績等
関係諸機関連絡会議	関係機関との連携を図るために実施 年10回
人権学習会	小学生 年14回 延べ人数348人
	中学生 年13回 延べ人数389人
人権学習発表会	学習会で学んだことを発表 1月15日実施 参加者数285人
高校生の集い	人権学習希望生徒を対象に実施 年12回 延べ人数192人
小・中学生研修会	小学3・4・5・6年生研修会 年1回 参加者数17人
	中学生研修会 年1回 参加者数31人
広報「高峠山」の発行	毎月1回、迫間児童館と合同で発行（年12回発行）
勉強会	小学生勉強会 年27回 延べ人数562人
	中学生勉強会 年29回 延べ人数211人
人権学習等の協力	保育所8回、幼稚園3回、小学校16回、中学校2回
愛育会活動との連携	役員会、総会、清掃活動、小中学年別保護者会議等への協力
地区内各種団体との連携	分館運営委員会、プール清掃活動、盆踊り、文化祭への協力

【点検及び評価】

人権学習事業は地区をこえた参加者も多くなり、教育現場等において差別性を指摘することができる児童生徒が育ってきている。学習会事業においては、進路保障を目的とした課題克服に寄与できたが学年によっては厳しい部分もあるため、今後も引き続き継続した取り組みが必要である。。また、志摩市内の学校からの教職員の部落問題研修、子どもたちの出会い学習を受け入れ、指導・助言を行うなど、教職員や子どもたちの資質向上に寄与できた。

今後も実態としての差別がある限り、関係機関との緊密な連携のもと、部落差別をはじめあらゆる差別に向き合える児童生徒を育成するとともに、将来における生活の基礎となる進路保障に取り組んでいく必要がある。

生涯学習スポーツ課

施策の成果及び執行実績

1 社会教育総務費

(1) 社会教育一般経費 921,338 円

社会教育の振興・発展にかかる一般事務経費

(2) 社会教育委員経費 86,000 円

社会教育法第15条第1項の規定に基づいて社会教育委員を設置し、会議を2回開催した。

社会教育委員：8人 任期：2年

社会教育委員報酬 82,500 円

(3) 社会教育関係補助金 560,000 円

社会教育団体等の育成支援

補助団体	補助金額 (円)
志摩市女性の会連合会	560,000

(4) 成人式開催事業 660,759 円

20歳になった青年の前途を市民全員で祝福するとともに、新成人が豊かな感性や創造性を持ち、まちづくりの重要な担い手として、さらには、将来の社会を支える一員として自らも自立し、そのための責任を自覚する機会を提供する場として、成人式を開催した。

平成29年志摩市成人式

平成29年1月8日 阿児アリーナ (式典会場：オーシャンホール)

出席者：新成人509人 (男272人、女237人)

成人式典記念写真 425,790 円

【点検及び評価】

成人式について、新成人11人で成人式実行委員会が組織され、成人式典全般の企画・運営に携わった。式典でマーチングAGOによる演奏や卒業アルバムからのスライドショーや中学校時代の恩師の先生方に舞台に登場していただくこと等を企画した。

2 青少年育成事業費

(1) 青少年補導センター事業 617,336 円

青少年の健全な育成保護を図るため補導員を委嘱し、問題青少年及び青少年非行集団の早期発見や情報交換を行い、青少年の非行防止に必要な業務を行った。

青少年補導員報酬 590,000 円

青少年補導センター補導員：36人 任期：2年

街頭補導、合同補導の実施 (通年)

	実施回数 (回)	従事した補導員数 (人)
街頭補導	185	207
合同補導	6	28

情報・意見交換のための全体会議を2回開催した。

生涯学習スポーツ課

施策の成果及び執行実績

(2) 青少年育成事業 1,031,950 円

青少年問題の重要性を深く認識し、関係機関及び団体との緊密な連携を図り、広く市民から理解と協力を得て次代を担う青少年の健全育成活動を推進することを目的に、実施を地域の団体に委託した。

契約名	契約相手方	契約金額 (円)
青少年育成事業	志摩市青少年育成市民会議	1,031,950

(3) 青少年育成関係補助金 537,000 円

青少年育成団体の育成支援

補助団体	補助金額 (円)
志摩市青少年育成市民会議	537,000

【点検及び評価】

青少年育成市民会議の活動を支援することで、地域に根ざした活動ができている。餅つきや盆踊りの太鼓叩きなどの伝統文化の伝承や清掃活動、星空観察会等の事業を行い次代を担う子どもたちの健やかな成長に寄与した。

3 しまこどもセンター事業費

(1) しまこどもセンター事業 275,677 円

しまこどもセンター活動推進協議会の開催

地域の教育力を活性化し、子どもたちに奉仕活動や体験活動の場や機会を提供するため、各地域の活動者や有識者を委員として委嘱し、会議を2回開催した。

しまこどもセンター活動推進協議会委員：22人 委員報償費 52,000円

しまこどもセンター事業の実施

学校・関係機関・各種団体が連携・協力を行い、様々な体験活動や地域住民との多彩な交流活動を実施した。

報償費 107,000 円 (講師謝礼)

本部事業

平成28年8月23日 ジュニアリーダー研修 (ともやま公園) 対象者18人参加

平成28年8月7日いきものなまえをしらべてみよう (阿児アリーナ) 48人参加

大王地区事業 (サンサンキッズ大王) 書道教室を3回開催 延べ26人参加

志摩地区事業 (志摩たちごクラブ) 書道教室を11回開催 延べ229人参加

阿児地区事業 (ドキ・ワク阿ミ～児) 平成28年12月3日

いも煮とフレッシュバター作り (障がい者支援施設「はばたき」) 35人参加

【点検及び評価】

しまこどもセンターとして、体験活動や地域住民との交流活動を実施することにより、青少年の健全育成の一助になったと考える。また、しまこどもセンター活動推進協議会は、地域や各種団体、企業からも委員が選出されており、会議では情報交換等を行い有意義なものとなった。

施策の成果及び執行実績

4 文化財保存事業費

(1) 文化財保存一般経費 1,089,866 円

文化財調査委員会委員：12人 任期：2年

文化財の指定・登録

平成29年3月3日に「鳥羽・志摩の海女漁の技術」が、国の重要無形民俗文化財に指定された。

埋蔵文化財の保護

埋蔵文化財包蔵地確認業務 1,127件

埋蔵文化財包蔵地における土木工事等の発掘届出書及び通知書提出における発掘調査等

発掘調査	0件	試掘調査	2件
範囲確認調査	1件	工事立会	13件

【点検及び評価】

志摩市文化財調査委員会の開催、文化財の登録・保護及び埋蔵文化財の保護や文化財防火査察等を行い、文化財の保護・啓発に努めた。

また、広報しま・志摩市ホームページに埋蔵文化財包蔵地の確認・調査についての情報を掲載し、文化財保護についての周知・啓発を行った。

(2) 文化財保存関係補助金 980,000 円

文化財の保存・伝承に対する助成

事業名	補助団体	補助金額（円）
わらじ祭り保存事業	波切自治会	300,000
大般若経保存事業（片田）	片田自治会	30,000
大般若経保存事業（立神）	立神自治会	30,000
安乗人形保存伝承奨励事業	安乗人形芝居保存会	260,000

「安乗の人形芝居」の次世代への伝承や後継者の育成を目的に、志島小学校で歴史文化体験教室を実施した。

郷土の伝統芸能の保存・継承と後継者育成への支援

事業名	補助団体	補助金額（円）
安乗中学校文楽クラブ太夫・三味線養成事業	安乗中学校	360,000

【点検及び評価】

市内に受け継がれている伝統文化（行事）の保存・継承のため、各保存団体へ補助金を支出しているが、保存・継承に有効に活用されている。

また、郷土の伝統芸能保存・継承と後継者育成への支援については、安乗人形芝居保存会が伝統文化の体験教室を継続して実施しており、今年度は市内の小学校で実施し、人形芝居の伝承に努めた。

施策の成果及び執行実績

- (3) 民俗芸能伝承事業 180,658 円

磯部の御神田に関すること

国指定重要無形民俗文化財「磯部の御神田」の保存・伝承を図ることを目的に、師匠への謝金や当日の運営に係る必要な経費を支出した。
体験田の管理を地元農家に委託し、御神田体験田管理委託料として支出した。

【点検及び評価】

国指定重要無形民俗文化財「磯部の御神田」の保存・伝承を図ることを目的に、師匠及びアナウンサーに謝金を支出した。また、竹取神事の参加者への傷害保険料を支出した。

また、体験田を活用し幼稚園児が稲作体験を行うことにより、郷土の良さを認識してもらい、次世代への伝承に努めた。

- (4) 遺跡発掘調査等事業 3,653,851 円

塚穴古墳（志島古墳群第4号墳）の出土遺物保存処理

遺跡詳細分布調査 志摩町、磯部町の一部の調査を実施

地域文化財総合活性化事業

「志摩市文化財マップ」発行 1,000部

【点検及び評価】

平成28年度は国庫補助事業として、塚穴古墳（志島古墳群第4号墳）の出土遺物保存処理業務、志摩町と磯部町の遺跡詳細分布調査を実施した。

さらに、これまで志摩市全体の文化財の分布状況を記した資料がなかったため、「志摩市文化財マップ」を作成し、生涯学習スポーツ課、志摩市歴史民俗資料館に配架した。手にとってもらう人も多く、市内の文化財に対する関心を集めることができた。

5 文化振興事業費

- (1) 文化振興関係補助金 1,450,000 円

文化振興団体の育成

志摩市文化協会補助金 1,400,000円（会員数 1,360人）

平成28年度の活動として、支部長会、役員会、総会の実施、また、友好都市（岐阜県郡上市）文化協会との交流事業として、志摩市協会員の作品（写真）を郡上市楽藝館等へ展示し、その後志摩市役所1階市民ギャラリーへの展示を行った。

スポーツ・文化全国大会等出場激励金

全国大会出場者10人に対し激励金を支出 50,000円

【点検及び評価】

志摩市文化協会に補助金を交付することにより、市民自らが参加する芸術文化活動の振興を支援するとともに、地域文化の創造と振興を図ることができた。

また、スポーツ・文化全国大会等出場激励金については、囲碁をはじめとした各種文化部門の全国大会等に出場した生徒10人に対し激励金を支出し、文化活動の推進を図った。

生涯学習スポーツ課

施策の成果及び執行実績

6 文化会館

(1) 志摩文化会館施設費

志摩文化会館管理運営費 12,098,743 円

(2) 阿児アリーナ施設費

阿児アリーナ管理運営費 26,882,980 円

自主文化事業 280,234 円

(3) 磯部生涯学習センター施設費

磯部生涯学習センター管理運営費 . . . 19,751,663 円

利用状況 (単位:件、人)

施設名	件数	市外	営利	減免	利用者数
志摩文化会館	1,039	49	50	536	30,628
阿児アリーナ	901	93	49	398	68,526
磯部生涯学習センター	1,030	40	72	425	33,335

使用料 (単位:円)

施設名	使用料	減免金額
志摩文化会館	1,806,650	1,847,730
阿児アリーナ	11,313,520	2,927,350
磯部生涯学習センター	1,550,960	1,293,045

自主文化事業

宝くじ文化公演 林家たい平・春風亭昇太

開催日：10月19日 場所：磯部生涯学習センター 来場者：343人

白子高等学校吹奏楽部コンサート

開催日：11月13日 場所：阿児アリーナ ベイホール 来場者：483人

【点検及び評価】

志摩文化会館・磯部生涯学習センターについては、地域の教育や文化の発展を図るため、地域住民の生涯学習、文化活動の活動拠点となるように努めた。

阿児アリーナについては、市の中核的な文化施設として、多様な市民のニーズに対応した様々な事業を行い、地域の教育や文化の発展及び向上を図った。本年度については、伊勢志摩サミットの開催に伴い阿児アリーナが平成28年6月30日まで使用停止となったため、利用者数が例年と比較して減少した。

生涯学習スポーツ課

施策の成果及び執行実績

7 公民館費

(1) 公民館管理運営費 22,578,760 円

施設利用状況

	施設名	使用件数 (件)	使用人数 (人)
公民館	浜島生涯学習センター	596	11,771
	大王公民館	952	17,996
	鵜方公民館	1,009	14,744
陶芸館	浜島あけぼの館	51	797
	志摩陶芸館	44	416
	阿児陶芸館	131	885

収入の状況

	施設名	金額 (円)
公民館使用料	浜島生涯学習センター	177,100
	大王公民館	867,900
	鵜方公民館	614,350
	計	1,659,350
陶芸館使用料	浜島あけぼの館	48,700
	志摩陶芸館	22,800
	阿児陶芸館	114,087
	計	185,587

施設修繕及び施設委託の状況

需要費 (主な施設修繕料)

浜島生涯学習センター	浄化槽電磁弁取替等修繕	73,440 円
大王公民館	図書室空調室外機修繕	80,287 円
大王公民館	室外トイレ及び1階トイレ修繕	97,632 円
鵜方公民館	北側進入路舗装工事	140,400 円

委託料 1,578,096 円

契約名	契約相手方	契約金額 (円)
浄化槽保守管理委託料	志摩環境事業協業組合	313,200
電気工作物保安管理委託料	(財) 中部電気保安協会	294,192
防火対象物定期点検委託料	I S (株)	31,320
火災報知設備等保守管理委託料	I S (株)	149,040
施設警備保障システム委託料	イセット (株)	447,444
環境整備業務委託料	川利建設	129,600
デマンド監視業務委託料	(財) 中部電気保安協会	45,360
ガスヒートポンプエアコン保守点検業務委託料	(株) 波切ヤンマー商会	167,940

生涯学習スポーツ課

施策の成果及び執行実績

臨時職員賃金 12,434,238 円
 社会教育主事、一般事務補助、夜間管理人

施設名	金額(円)
浜島公民館	3,834,150
大王公民館	5,106,288
鵜方公民館	3,493,800

(2) 公民館講座開催事業 2,429,000 円

市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的として公民館講座(生涯学習講座)を開催した。

報償費 2,429,000 円(全地区公民館講座講師謝礼)

各地区の講座実施状況

一般講座

地区名	講座数	受講登録者数(人)	延べ参加者数(人)	報償費(円)
浜島地区	10	154	1,384	500,000
大王地区	11	182	1,193	560,000
志摩地区	6	135	1,138	265,000
阿児地区	11	171	1,613	539,000
磯部地区	10	174	1,215	525,000
計	48	816	6,543	2,389,000

高齢者学級

地区名	講座名	開催回数(回)	延べ参加者数(人)	報償費(円)
浜島地区	つるかめ大学	6	704	40,000
磯部地区	くすのき講座	3	205	0
計		9	909	40,000

収入の状況

公民館講座受講料(1人1講座につき1,000円)

地区名	受講料(円)	地区名	受講料(円)
浜島地区	155,000	阿児地区	171,000
大王地区	182,000	磯部地区	174,000
志摩地区	135,000	計	817,000

【点検及び評価】

生涯学習講座は各講座の講師及び受講者の自主的な運営に支えられているが、若年層の参加が少ない。体操やヨガなどは若い人の参加があるため、今後も幅広い年代が参加できる魅力ある講座を企画していく必要がある。

施策の成果及び執行実績

8 図書館費

(1) 図書館管理運営費 32,750,889 円

図書館利用状況

	市立	磯部	志摩	大王	浜島	合計
貸出者数(人)	31,555	3,928	7,245	245	349	43,322
貸出冊数(冊)	129,027	14,360	24,165	729	1,176	169,457

自主事業

「読み聞かせ会」「おはなし会」「図書・雑誌リサイクルフェア」等、数多くの自主事業を実施した。

移動図書館

市内の図書館(室)から居住地が遠く、利用が困難な小学校の図書館や保育所等と連携をはかり、市内図書館(室)の図書資料を小学校等に運搬し、通学・通園する児童に貸し出しを実施した。波切小学校、越賀小学校、安乗小学校、片田小学校、えがお志摩保育園、ひまわり保育所、各子育て支援センターで実施し、年間6,161冊貸し出しを行った。

【点検及び評価】

図書資料の収集・整理・貸出を行い、特集展示を積極的に開催し、利用者サービスの充実を図り、来館者が快適・安全に利用できるよう、設備の保守点検を行うとともに、親しまれる図書館づくりに向けて多くの事業を開催した。

また、保育所や子育て支援センターで出張図書館講座を開催し、館外においても読書推進につなげる活動を行った。今後も利用者サービスの充実を図り、より多くの市民に来館してもらえるようにPR方法を工夫し、運営を行っていく必要がある。

9 歴史民俗資料館

(1) 歴史民俗資料館管理運営費 7,487,909 円

歴史民俗資料館入館者数 (単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	689	511	838	665	747	594	599	734	309	372	545	993	7,596

企画展開催事業

企 画 名	開催日	入館者(人)
志摩のはじまりを求めて	3月19日～5月8日	1,085
志摩の鳥人(故)松本高正さん写真展	4月16日～5月15日	746
写真展 磯部のおみた	6月4日～6月29日	789
写真展 伊勢志摩から拝る富士山	6月11日～7月10日	891
伊勢志摩国立公園の中に棲む昆虫たち	8月2日～10月2日	1,377
子どもたちの『出征』～学童疎開～展	8月19日～8月23日	128
ミニ企画展読書の秋の復刻本まつり	10月25日～11月27日	887
鉛筆画「志摩市三十景」展	11月1日～11月30日	734
磯和俊宏写真展「越賀」 三重県総合博物館・三重大学・志摩市歴史民俗資料館連携事業移動展示「先っちょ志摩に生きる」	2月18日～3月19日	1,145

施策の成果及び執行実績

【点検及び評価】

ふるさと学習に対応するため、昭和初期～30年代の小学校教室再現のコーナーを新たに設置、さらに「まつり」「古文書にみる地震の記録」「道標」コーナーのパネルのリニューアルをし、常設展の充実を図った。来館者に好評である。企画展は、三重県総合博物館、三重大学との連携事業として「移動展、先っちょ志摩に生きる」を開催した。関連事業のシンポジウムは、内容も充実したものとなり106名の参加者があった。

また、「民具のもつ力、認知症の理解と回想法」は、102名の参加があり、資料館の持つ新たな可能性を探ることができた。また社会見学として保育園児から高齢者まで年代を超えた来館者があった。

10 スポーツ推進事業費

(1) スポーツ振興補助金	4,405,000 円
志摩市体育協会補助金	2,570,000円
志摩市スポーツ少年団補助金	1,620,000円
スポーツ文化全国大会等出場激励金	215,000円（個人 30件 ・ 団体 1件）

【点検及び評価】

志摩市体育協会については、各競技別による専門部が中心となり、専門性を活かした活動が活発となり、定着してきている。志摩市スポーツ少年団については、団員の確保対策の1つとして募集チラシを各小学校に配布し、一定の効果が認められている。

また、全国大会等出場激励金については、今後も当事業が活躍の一助となるよう役割を果たしていきたい。

(2) 美し国三重市町対抗駅伝事業	700,000 円
契約名	美し国三重市町対抗駅伝業務委託
契約相手方	美し国三重市町対抗駅伝 志摩市組織委員会
契約金額	700,000円

【点検及び評価】

平成29年2月19日開催の第10回美し国三重市町対抗駅伝に出場する志摩市代表チームの選手選考や大会に向けての選手への指導等を行った結果、総合順位で12位、市部門で10位と健闘した。今後も引き続き上位入賞を目指し競技力の向上支援と選手の強化を図っていきたい。

(3) スポーツ教室開催事業	1,000,000 円
契約名	岡山シーガルズバレーボール教室開催業務委託
契約相手方	「Vリーグ岡山シーガルズバレーボール教室」開催実行委員会
契約金額	1,000,000円

施策の成果及び執行実績

【点検及び評価】

志摩市出身の山口舞選手が所属する「岡山シーガルズ」を招いて、平成28年8月27日に阿児アリーナにて主に小・中学生（参加者：183人）を対象としたバレーボール教室を開催した。

シーガルズの選手の指導による基礎練習等を行い、指導者向けのテーピング講習会も実施した。トップアスリートに触れ、その指導を受けることにより技術力はもとよりバレーボールに取り組む意識の向上も同時に図られた。

- (4) 国民体育大会準備経費 386,257 円

先催県（岩手国体）視察研修

トリアスロン競技会（釜石市）：平成28年10月2日

トリアスロン競技事業概要説明会：平成28年12月14日

競技用具整備調査、競技施設整備計画策定に向けた調査等の実施

【点検及び評価】

平成33年度に開催される三重とこわか国体の準備のため、岩手県釜石市にて開催された国体トリアスロン競技会の視察を実施。また国体開催後に行われた釜石市事業概要説明会へ参加した。

トリアスロンについては岩手国体が正式競技として初の開催であり、志摩市で開催準備を進めていく上で参考となった。

- (5) オリンピック出場応援事業 500,000 円

契 約 名 オリンピック出場応援事業業務委託

契 約 相 手 方 リオオリンピック山口舞選手を応援する会

契 約 金 額 500,000円

【点検及び評価】

志摩市出身の山口舞選手が女子バレーボール全日本女子チームの代表としてリオデジャネイロオリンピック出場への応援に関する事業を実施した。

市民への周知と応援の盛り上げを図るため、応援幟旗、懸垂幕、応援チラシ、応援寄書を作成し、平成28年8月11日に志摩文化会館にてパブリック・ビューイングを開催し、180人の参加があった。

11 体育施設費

- (1) 浜島ふるさと公園施設費 2,225,160 円

指 定 管 理 者 特定非営利活動法人 浜島スポーツクラブ

指 定 管 理 料 2,196,000円/年

指 定 管 理 期 間 平成26年度～平成28年度（3か年）

利 用 状 況 使用料：866,500円、団体数：327件、使用人数：4,126人

- (2) 志摩総合スポーツ公園施設費 1,572,200 円

指 定 管 理 者 特定非営利活動法人 志摩スポーツクラブ

指 定 管 理 料 1,480,000円/年

生涯学習スポーツ課

施策の成果及び執行実績	
指定管理期間	平成28年度～平成30年度（3か年）
利用状況	使用料：178,750円、団体数：430件、使用人数：7,284人
(3) 長沢野球場施設費	9,984,687 円
長沢野球場管理運営費	3,486,327 円
利用状況	使用料：396,000円、団体数：124件、使用人数：5,935人
長沢野球場等施設改修事業	6,498,360 円
長沢野球場・多目的広場測量業務	6,001,560 円
契約相手方	CSGコンサルタント（株）志摩支店
長沢野球場・多目的広場概略設計業務	496,800 円
契約相手方	CSGコンサルタント（株）志摩支店
(4) 阿児テニスコート施設費	1,320,739 円
利用状況	
・テニスコート	使用料：217,000円、団体数：68件、使用人数：1,341人
・多目的広場	使用料：736,500円、団体数：241件、使用人数：6,882人
	※5月20日～6月2日サミット関係機関が使用
(5) 賢島スポーツガーデン施設費	2,753,520 円
指定管理者	株式会社 代々木高校
指定管理料	2,085,000円／年
指定管理期間	平成27年度～平成29年度（3か年）
利用状況	使用料：2,337,900円、団体数：1,002件、使用人数：10,977人
(6) 長沢運動公園グラウンド管理費	314,156 円
利用状況	使用料：677,500円、団体数：22件、使用人数：1,044人
	※4月1日～7月5日サミット関係機関が使用
(7) 磯部ふれあい公園管理費	23,397,240 円
指定管理者	特定非営利活動法人 いそべスポーツクラブ
指定管理料	22,399,000円／年
指定管理期間	平成26年度～平成28年度（3か年）
利用状況	
・ふれあい公園	使用料：1,541,145円、団体数：1,452件、使用人数：29,432人
・磯部プール	使用料：269,300円、団体数：15件、使用人数：2,791人
(8) 迫塩社会体育館管理運営費	1,369,994 円
利用状況	使用料：407,000円、団体数：264件、使用人数：3,919人
	※4月15日～5月31日サミット関係機関が使用
(9) 成基社会体育館管理運営費	892,898 円
利用状況	使用料：139,250円、団体数：273件、使用人数：2,885人

施策の成果及び執行実績

(10) 学校体育施設管理費 793,609 円

利用状況 (単位：円、件、人)

区分	学校夜間照明			学校体育館		
	使用料	団体数	使用人数	使用料	団体数	使用人数
浜島地区	-	-	-	95,750	453	6,848
大王地区	81,000	42	853	226,500	581	6,640
志摩地区	105,000	52	1,108	208,625	521	6,317
阿児地区	196,500	186	4,911	780,500	1,902	29,357
磯部地区	195,000	108	3,059	258,750	488	5,551
合計	577,500	388	9,931	1,570,125	3,945	54,713

(11) 大王柔剣道場施設費 207,382 円

利 用 状 況 使団体数：340件、使用人数：2,817人

【点検及び評価】

各種体育施設の利用状況については、昨年度と比較し平均的に横ばい傾向である。また、指定管理者制度を導入している施設の利用状況については、安定的な施設運営となっている。

各スポーツ施設は、ほとんどの施設が建築後20年以上を経過し老朽化が著しいため、改修工事が必要となっているが、施設数が多く多額の改修費用が必要となるため、今後は利用状況に応じた施設の統廃合や指定管理者制度の導入等、弾力的な運用を検討する必要がある。

12 海洋センター施設費

(1) 浜島海洋センター施設費 33,511,880 円

浜島海洋センター管理運営費 26,929,280 円

指 定 管 理 者 特定非営利活動法人 浜島スポーツクラブ

指 定 管 理 料 26,858,000円/年

指 定 管 理 期 間 平成26年度～平成28年度 (3か年)

利 用 状 況

・アリーナ等 使用料：1,699,200円、団体数：315件、使用人数：6,953人

・プール 使用料：710,250円、団体数：319件、使用人数：10,346人

(2) 浜島海洋センター施設改修事業 6,582,600 円

浜島B&G海洋センター温水機更新工事实施設設計業務委託 297,000 円

契 約 相 手 方 西沢建築設計事務所

浜島B&G海洋センター温水機更新工事施工管理業務委託 291,600 円

契 約 相 手 方 西沢建築設計事務所

浜島B&G海洋センター温水機更新工事 5,994,000 円

契 約 相 手 方 大西建設工業(有)

施策の成果及び執行実績

(3) 志摩海洋センター施設費	・・・・・・・・	18,912,000 円
指定管理者	特定非営利活動法人 志摩スポーツクラブ	
指定管理料	18,777,000円／年	
指定管理期間	平成28年度～平成30年度（3か年）	
利用状況		
・アリーナ等	使用料：742,300円、団体数：744件、使用人数：13,749人	
・プール	使用料：163,000円、団体数：41件、使用人数： 3,366人	

【点検及び評価】

各海洋センターの使用料については昨年度に比べて微増となっているが、利用状況については平均的にほぼ横ばい傾向となっている。（浜島海洋センターは、サミット関係機関が使用した。）

また、指定管理者制度を導入し、施設の運営管理がなされており、地域に密着した各種スポーツの取組み（教室・イベント等）が展開された。浜島海洋センターのプール温水機の更新工事を実施したが、海洋センターを含め各社会体育施設についても経年劣化や塩害等により老朽化が著しく、今後は計画的に利用状況を踏まえ施設の統廃合を検討するとともに、利用者にも配慮しながら施設の改修を進めていく必要がある。